

ぎふ花と緑の振興計画の概要

1 計画の策定にあたって

計画策定の趣旨

花き産業を取り巻く環境の変化や抱える課題などを踏まえ、花き振興施策を総合的かつ計画的に推進する

計画の性格と位置づけ

「岐阜県花きの振興に関する条例」（平成26年岐阜県条例第70号）第8条及び「花きの振興に関する法律」（平成26年法律第102号）第4条に基づく振興計画として策定

計画期間

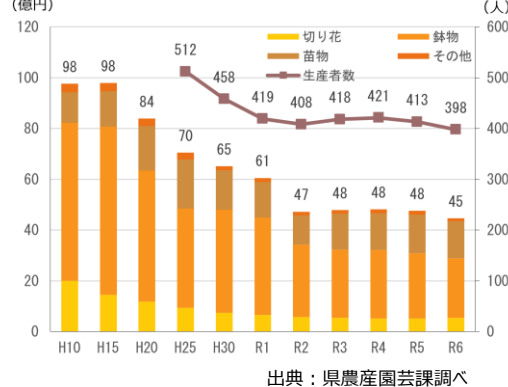
令和8年度から令和12年度までの5年間

2 岐阜県の花きを巡る状況

生産

- 花き産出額は平成15年以降減少傾向で、令和6年には約45億円まで減少。
- 花き生産者の減少及び労働人材の不足
- 気候変動（特に夏季の高温）による生産の不安定化
- 資材エネルギー価格の高騰による生産コストの上昇

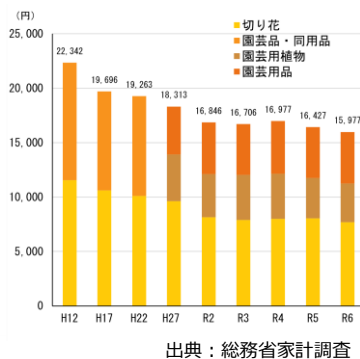
花き産出額及び生産者の推移（岐阜県）



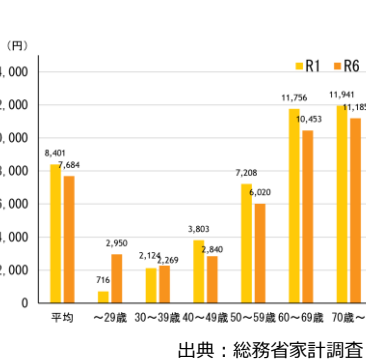
消費

- 花き関連品の年間購入金額は減少傾向
- シニア層に比べ、若い世代の購入額が少ない。
- 新型コロナの影響による結婚式、葬式などの業務需要の減少。
- 核家族化や住宅様式などライフスタイルの変化に伴い需要が変化。

1世帯当たり花き関連品消費額（全国）



世帯主年齢別切り花年間購入額（全国）



3 第2期計画の取組み

(1) 花き文化の振興

- ライフスタイルに合わせた花飾りの提案
- 若年層を中心とした新たな花き文化創出

(2) 園芸福祉の推進

- 園芸福祉サポーター育成による活動推進

(3) 花育の推進

- 地域と連携した花育教室の開催

(4) 花き産業の振興

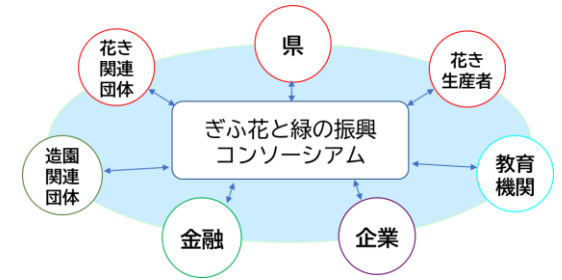
- 経営力向上研修、技術研修の開催
- SNSを活用した県産花きの魅力発信

(5) 花きの活用促進

- 他業種との連携による新商品開発

4 施策の推進体制

花き業界の壁を越えた産学金官の多様な主体と連携して設立した「ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」を核として事業を展開



5 目標指標

	現状値*	目標値（R12）
① 主要品目の花き産出額	46億円	53億円
② 1世帯当たり花き関連品消費額（岐阜市）	19,626円	23,000円

*①はR5実績、②はR2～R6の5年間で最大と最小の値を除いた3か年の平均値

6 施策の推進方針

1 花と緑の生産振興

○多様な担い手の育成

- 就農ルートの充実
- 経営継承の促進
- 生産者の規模拡大の推進
- 生産技術の向上

○サステナブルで高品質な花き生産の推進

- ワーキンググループによる生産課題の解決
- 高温対策
- 県育成品種のブランド化推進（ネイティブフラワーなどの新品種育成等）
- 環境に配慮した生産への転換（エネルギーコストの低減）

○流通・販売体制の強化

- 集出荷場の高温対策など流通の効率化
- E CやSNSを活用した販路開拓

2 花と緑の文化振興

○花育・園芸福祉の推進

- 小中学生等に対する花育の推進
- 園芸福祉の推進

○花き文化の伝承・創造

- 高校生等の花飾りの場づくり
- 「花きの日」等における花きの活用促進

○花のある暮らしの提案

- 若年層に向けたSNS等による花き情報発信
- 2027年国際園芸博覧会への出展及び情報発信
- 県営公園等におけるグリーン・ライフの推進



高温対策（外気導入）



ネイティブフラワー



SNSによる生産者の紹介